

# 地域活性化に向け新たに5件を採択

県立広島大学研究開発助成事業 企画課企画調整係 ☎0824-73-1128

市は平成17年度から、県立広島大学の研究者が所有する知的資源と地域資源を活用し、研究成果を商品化・事業化に結び付け、地域活性化を図る「県立広島大学研究開発助成事業」を実施しています。本年度は、新規助成対象研究課題として、5件の

課題を採択しました。

今後は、研究成果を研究担当者やしょうばら産学官連携推進機構と連携しながら、地域活性化や新産業創出に向けて取り組みを進めます。

平成21年度助成対象研究課題

## 研究課題の内容

## 研究者

亜/超臨界流体によるサーモスイッチング式POPs分解装置の開発 ダイオキシン類による汚染土壌の処理や農作物残渣の処理が可能な小型分解装置を開発。環境保全や地元企業の活性化を目指します。	三苫 好治 准教授
低濃度油分含有廃水を効率的に回収する実用小型装置の作製 地元企業などと連携し、「油分回収装置」を作製・改良。環境保全や地元企業の活性化を目指します。	江頭 直義 教授
汚泥焼却炉におけるバイオマスエネルギー利用及び汚泥の処理に関する研究 し尿汚泥焼却施設、ごみ焼却施設に木質バイオマスエネルギーなどを有効活用するよう研究し、環境保全を目指します。	前川 俊清 准教授
マツタケの人工栽培とマツタケ山の再生 マツタケのシロの安定した人工栽培法を確立し、シロを庄原市や周辺のマツタケ山へ移植。地域経済活性化を目指します。	相沢 慎一 教授
庄原発特産化加工食品の開発と資源化 「庄原発」の食品加工品の開発と特産化。ノウハウを開示し農業振興や食育に貢献します。	吉野 智之 准教授

## 安心・安全な毎日のために

庄原警察署 ☎0824-72-0110

## みんなで子どもを

## 見守りましょう

夏休みも終わり、学校が始まりました。子どもたちの通学路は、小中学校を

中心として地域内全体に広がっており、登下校の時間帯になると、子どもたちが

がさまざまな方向へ移動します。

近年、地域のみんなで子どもたちの安全を守ろうと、市内各地で見守り活動が盛んに行われています。今回は、そのポイントについて紹介します。



### POINT

## 見守り活動のポイント

### 【基本的な心構え】

#### ● 気軽に！

日常生活の一部として気軽にやりましょう。犬の散歩や買い物の際に、腕章やタスキなどを着けるだけで、犯罪の抑止効果があります。

#### ● 気長に！

気長に続けられれば、知らず知らずのうちに犯罪の起こりにくい環境がつけられます。

#### ● 危険なく！

危険なことをする必要はありません。危ないと思ったら警察に通報しましょう。

### 【見守りの着眼点】

● 不審な車(者)はいないかチェックしましょう。子どもに声をかけている、

携帯電話のカメラなどで子どもを撮影しているなど。

● 子どものかげりや声やブザー、ホイッスルの音に敏感に反応しましょう。

● 子どもに声をかけている人物を見かけたら、子どもの方に「大丈夫？」と声をかけましょう。

● 夕暮れ時に子どもが遊んでいたから、早めの帰宅を促しましょう。

● 通学路などに異常がないかチェックしましょう

① 落下物や廃棄物など、子どもが持つて遊んで危険な物、有害な物はないか。

② 用水路やため池など、水難事故が発生する恐れのある場所はないか。

③ 空き家や廃屋など、子どもの遊び場になっている危険な場所はないか。